

## 令和3年度 商業振興補助事業審査委員会（第1回）議事録

- 1 日時 令和3年4月21日(水)14時00分～15時40分
- 2 場所 横須賀市役所分館5階経済部会議室
- 3 出席委員 石井 健次(公益財団法人横須賀市産業振興財団主幹)  
大場 保男(公益財団法人横須賀市産業振興財団商工相談員)  
佐藤 廣 (横須賀商工会議所産業・地域活性課長)  
佐藤 卓 (公益財団法人横須賀市産業振興財団商工相談員)  
為崎 緑 (公益財団法人横須賀市産業振興財団商工相談員)  
熊澤 彰 (横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長)

4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木主査、水野、関口

5 傍聴者 0名

### 6 委員の委嘱について

#### (1) 委嘱状について

資料1の商業振興補助事業審査委員会条例第2条第3項の、「委員の任期は、2年とする。」の規定に基づき、委嘱期間を令和5年3月31日までとする。また、条例第3条第1項に「委員会に委員長を置き、委員が互選する。」とあり、文化スポーツ観光部商業振興課長の「熊澤委員」を委員長とする。

### 7 議事内容：商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

#### (1) 審査スケジュールについて

(事務局)

本日は商店街地域資源活用事業1団体1事業、にぎわいづくりイベント事業4団体4事業の審査を予定している。(※資料2参照)

#### (2) 審査方法について (※資料3参照)

(事務局)

##### 【商店街地域資源活用事業】

商店街地域資源活用事業は、商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業となっている。別添採点表に基づき4項目×各5点=20点満点で評価を行い、審査委員の合計点数が70%を超えるものを採択する。

##### 【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

### (3) 商店街地域資源活用事業

#### (ア) ドブ板通り商店街振興組合 (※資料4参照)

(A 委員)

オリンピックスカジャンの販売実績はどうか。またオリジナルスカジャンの販売計画はどう考えているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

オリンピックスカジャンはオリンピック公式ライセンス商品として 100 着限定で販売を行ったところ、追加発注がかなりあり現在までに 1,057 着の販売を行っている。今後も増える可能性がある。販売価格は税込み 39,600 円。

オリジナルスカジャンは 200~300 着の販売を想定している。販売価格は税抜き 25,000 円~30,000 円。売り上げ状況を見て生産する。

(A 委員)

商店街の組合員にはスカジャンを取り扱う店もあるが、それを圧迫することにならないか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

組合員にはオリジナルスカジャン作成について周知をしている。このスカジャンはドブイタステーションのみで販売をする。ドブ板に足を運んでもらわなければ購入できないようにしている。

(A 委員)

組合員との相乗効果か。

(ドブ板通り商店街振興組合)

それはこれから考えていく。3年前にスカジャン発祥の地宣言をしている。これが日本国内だけでなく世界にも広がっていけばいい。

(A 委員)

全体が盛り上がるようにしていただきたい。

(B 委員)

購入者ごとに一部分に刺繍を入れることができるのか。すべて同じデザインなのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

デザインを起こすのにお金はかかるが、2~3パターンを考えている。

(A 委員)

男性用、女性用で分けるのか。サイズ展開はどうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

男女で分けない。サイズはM、L、LLの3つ。

(A 委員)

組合員の店に行った際、男性、女性、子供とファミリーで着ることも多いと聞いた。バリエーションを増やしてほしい。

(ドブ板通り商店街振興組合)

検討する。

(C 委員)

発売はいつか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

採択されれば5～6月には取り掛かる。早ければ1か月程度ではないか。

(C 委員)

販売見込みは。

(ドブ板通り商店街振興組合)

当初は300着を想定している。発信はウェブやSNS、ミニコミ誌を考えている。状況見ながら販売する。

(C 委員)

粗利はどのくらいか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

40%程度を考えている。なるべく単価を下げて多くの人に着てもらえるようにする。

(D 委員)

ブランディングについて、スカジャンそのものの商標登録や定義等、スカジャンそのものを守る対策はあるのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

オリジナルのロゴを入れる。

(D 委員)

スカジャンという言葉はどこでも使われている。他と差別化して本物とするにはどうしたら良いか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

オリンピックスカジャンもそうであったが、オリジナルのロゴ、タグで本物としたい。

(A 委員)

海軍カレーは一定のルールがあるが、スカジャンはあるのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

今後、歴史等を打ち出していきたい。

(A 委員)

そのような歴史を記載した説明書等があればよい。

(D 委員)

限定にするのならタグなどに番号をつけるのもよいのではないか。

(E 委員)

3年計画の2年目ということだが、来年は何をするのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

商店街の中にDOP（ドブ板お守りプロジェクト）という組織を立ち上げた。現在はスカジャン柄のお守りを販売している。ドブ板活性化のために、今後はスカジャンを基調にした企画を行う。

(A 委員)

お守りは神社で売らないのか。お土産として販売するのか、お守りとして販売するのかどちらか。神社で売らないとありがたみがないのではないか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

宮司と話をして、全てドブイタステーションで販売する。神社の御霊も入っており、お祓いもしている。本当のお守りである。デザインはドブ板オリジナルである。

(D 委員)

スカジャンの刺繍の品質はどうか。ドブ板で刺繍できる職人は少なくなっている。

(ドブ板通り商店街振興組合)

手刺繍が基本だが、職人が減っている。刺繍専門の業者がいる。機械になるが、本来であれば手刺繍が良い。ドブ板には1人しか職人がいない。伝統を守っていきたい。

(A 委員)

ネット販売は行わないのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

今後行う。HPの閲覧は多いのでネット販売も大事にしていく。

#### (4) にぎわいづくりイベント事業

(ア) ドブ板通り商店街振興組合 (※資料5参照)

(A 委員)

ハロウィンイベント等、リモートではやらないのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ハロウィンイベントは商店街連合会で市内全体で実施している。コロナ禍の中、果たして10月にイベントができるのか、それも含めて考える。

(A 委員)

他の商店街では、仮装の募集を実施した。商店街ホームページの登録者数が増えた。リアルとオンラインを上手く組み合わせてほしい。

(ドブ板通り商店街振興組合)

よく考えてやっていきたい。

(C 委員)

アームレスリングはリモートでライブ中継したら面白い。

(ドブ板通り商店街振興組合)

まだ実施したことがない。考えていきたい。

(D 委員)

シャッターアートは商店会館のみか。他の店舗は実施しないのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

商店会館のみ。今後は会員の店舗にも広げていきたい。

(A 委員)

シャッターアートは、デザインやテーマを統一したほうが良い。

(D 委員)

アートでジャズの何を提案するのかを明確にしたほうが良い。また、毎日がアメリカンというコンセプトであるなら、イベントのみでジャズをするのではなく、街角でジャズができるような、毎日どこかでジャズができるのが良い。ハロウィンも米軍と一緒に日米共同で行い、配信出来れば良い。横須賀のハロウィンは一味違うと見せられれば良い。

(ドブ板通り商店街振興組合)

川崎のように壮大にできればいい。米軍は横須賀ならではのものなので、大事にしていきたい。

(B 委員)

シャッターアートのアーティストは、地元の学生を採用するのはどうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ドブ板でしか出すことができない絵柄を前面に出したい。学生には難しいのではないかな。

(E 委員)

キッチンカーなどが停められれば、見栄えもよくなる。市と連携して出来れば良い。

(ドブ板通り商店街振興組合)

できれば、ドブ板の通りを歩行者天国にして、音楽を取り入れながらそのようにやっていきたい。

## (イ) 野比駅前商店会 (※資料 5 参照)

(A 委員)

チラシを B 4 から A 4 に変更して目立たせるとのことだが、もう少し具体的に教えていただきたい。

(野比駅前商店会)

チラシの裏面の店舗紹介が大きくなって見やすくなった。

(A 委員)

チラシは読むより見るものなので、写真を大きくしたりキャッチフレーズ等、ビジュアルを考えてほしい。

やさしいおもてなしを浸透させるため、小さなことでもいいので実践してほしい。

(D 委員)

「いらっしゃいませ」を「こんにちは」に変えるだけで会話が生まれておもてなしにつながる。簡単なことから始めれば良い。

(野比駅前商店会)

そういうところから始められれば良い。

(C 委員)

チラシに商店主の顔写真や出身地を載せると、客と会話が盛り上がる。

会話のネタをチラシに盛り込むと良い。

(野比駅前商店会)

商店主の写真を載せたチラシは作成したことがあるが、人的プロフィールは良い切り口だと思う。

(D 委員)

2月予定の飲食店中心のイベントでは、限定メニューなどは考えているのか。

(野比駅前商店会)

ドリンクサービス等なので、メニューではない。店に提案してみる。

(E 委員)

チラシは年間何回発行するのか。対象地域はどこか。

(野比駅前商店会)

年3回、12,000部発行する。対象地域はハイランドから津久井浜の一部。新聞折込である。

(E 委員)

Y R Pの企業に協賛を募るのはどうか。チラシに企業名を入れて掲載料をとり、また、チラシを協賛企業で配布してもらうのも良いと思う。

(B 委員)

春のバザールの1,000円で2,000円のハシゴ券は大変お得であるが、プレミアムはどこが負担するのか。また、何セット販売するのか。

(野比駅前商店会)

商店会で負担する。200セットの販売。

(A 委員)

どこで販売するのか。

(野比駅前商店会)

協力店がメインで、それ以外で3か所である。

(A 委員)

参加店での販売は常連客しかメインにならないため、新たな顧客を開拓するために他でも販売すると良い。

#### (ウ) 千日通り商店街振興組合 (※資料5参照)

(A 委員)

今は何割くらいの店舗のプレートが付けられているのか。

(千日通り商店街振興組合)

会員は92店舗あり、街路灯は65本ある。その中で約50本にプレートを付けている。

(D 委員)

ベ이스ターズの応援は、各店舗独自で何かやっているのか。何か盛り上がりが見たい。

(千日通り商店街振興組合)

何もしていない。ベイスターズのファンではない店舗もいる。今は追浜に選手がいるので、なかなか中央エリアに来てくれない。

(A 委員)

チケットがもらえる商店街というのは浸透しているか。

(千日通り商店街振興組合)

4年目になるので、浸透している。

(A 委員)

新たな顧客の獲得にはつながっているのか。

(千日通り商店街振興組合)

つながっていると思う。

(E 委員)

フラッグの処分方法について、ベイスターズから指示はあるのか。

(千日通り商店街振興組合)

特にない。保管もせず廃棄している。

(E 委員)

廃棄しないで選手のサインを入れたものをチャリティーオークションで販売したらどうか。

(千日通り商店街振興組合)

検討する。

(B 委員)

シーズンオフは何か考えたりしているのか。

(千日通り商店街振興組合)

特に考えていない。

(A 委員)

イルミネーションで来街者は20%増えるのか。

(千日通り商店街振興組合)

年末なのでその程度増える。

(A 委員)

増えた来街者を取り込む工夫はあるのか。

(千日通り商店街振興組合)

個店任せになる。

(A 委員)

商店街で情報発信できないのか。

(千日通り商店街振興組合)

商店街としての情報発信はヨコスカダウンタウンクラブのスマートフォンアプリでできる。

(D 委員)

SNSはあるのか。

(千日通り商店街振興組合)

ない。昨年のはまかぜ新聞の特集に掲載してもらった。

(D 委員)

個店はSNSで情報発信ができるので、SNSの活用を個店に提案してみると良いのではないかと。

**(エ) 一般社団法人リドレ商店会 (※資料5参照)**

(A 委員)

周辺の商店街や個店への効果はあるのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

昨年度はコロナの影響でイベントやライブができなかったが、YouTubeで地元アーティストの街角ライブや、マイタウンクリップといった町の変遷を紹介する動画で、街全体をPRしてきた。また、リドレにある保育園の園児がリドレの店舗を紹介する動画も作成した。こういった取り組みが街の宣伝になっている。

(A 委員)

エリアのけん引役として頑張ってほしい。街の宣伝にとどまらず、周辺の店舗を取材して、店舗の紹介を動画の合間にしてほしい。

(一般社団法人リドレ商店会)

少し広げたかたちでできたら良い。

(D 委員)

コロナで演奏できない状況であるので、街角ライブの配信は、出演者を広く募るのはいかがでしょうか。さらに投げ銭が入れば出演者も助かると思う。

(一般社団法人リドレ商店会)

市の街なかミュージックをタイトルにつけさせてもらっているので、市と連携したい。

(D 委員)

ライブ配信はあるのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

まだない。

(B 委員)

今後は予定しているのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

ライブ配信はこれからになる。ただ、演奏場所がないのでどうしても編集して配信するようになってしまう。

(D 委員)

マルシェについて、東日本大震災から10年経つが、復興関係者がいなくなってしまうと生産者は売り上げが伸びてこない。復興地域の道の駅や産地直売所とタイアップすることはできないか。

(一般社団法人リドレ商店会)

物産はお互いに費用が掛かる。売り切らなくてはいけないためハードルが高い。ネットワーク的には可能だが、ロスが出た場合の費用や輸送費



をクリアできれば可能である。

(C 委員)

以前、大槌町の物産を開催した際は人は来ず品物だけが来たが、ボランティアが手伝ってくれた。また、県人会を中心に地元のもの卖るところもある。地方の人は神奈川県で売ることの魅力を感じている。

(E 委員)

リドレマルシェの三浦半島大収穫祭は何をするのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

昨年、一昨年に企画していたがコロナの影響や悪天候でできなかったものである。地元生産者や飲食店が企画をして追浜で開催していたイベントであり、それをリドレでも開催をする。リドレ横の通りを通行止めにして飲食店のほか生産者も出店してもらう。悪天候でできなかった前回は「しらす」の販売を企画した。何かテーマを持って実施したい。

(E 委員)

通常のマルシェと違うものがあると良い。

(一般社団法人リドレ商店会)

サンデーストリートはアーティストのマルシェ、大収穫祭は本来のマルシェとしてやっていきたい。

(A 委員)

5周年の記念品は何か。

(上町商店街連合会)

豊むと熊の形になる、リドレの柄が描かれたエコバックである。6月15日の大抽選会で配布予定。

(A 委員)

記念品は配るだけで使われないものも多いが、エコバックなら使ってもらえてリドレの宣伝にもなるので安心した。

#### (4) その他

(事務局)

先ほどのドブ板通り商店街振興組合の商店街地域資源活用事業の採択結果は、委員6名で120点中97点と70%を超えたので採択とする。

今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただく。

以上で商業振興補助事業(第1回)を終了する。